

あいあいあい

I eye 愛

2018年

7月号

6月8日、第30回通常総代会で発足した新しい理事会です



第28期理事会が発足しました

理事長 高橋千佳

6月8日に開催された第30回通常総代会において、理事会が提案したすべての議案に対して可決承認を頂きました。誠にありがとうございました。

生協の役割は、ネット通販や

他の宅配と違って、ただ単に商品

を届けることだけではない

はずです。新聞やテレビから流

れる情報は、私たちが得たいも

のとかけ離れる一方、都合の悪

い事は知らされないこの社会

において、知りたいと願う人の

想いに応えることが大切です。

農薬、添加物、遺伝子組み換え

作物の問題、そして、命の種子

の問題も情報を提供し、共に学

び、考え、行動する。知ることが

が私たちの選択する力を大きく

くし、私たちの安全・安心な

日々の暮らしを守り、命を守る

ことに繋がっていきます。

私たちがこれから迎える超

高齢化社会でキッズからシニ

アまで誰もが安心して暮らし

ていくために、そして自然エネ

ルギーによる地域再生を通し

て東北の自然を未来に繋ぐためにも、いままで以上に人と人との「つながり」が求められていると思います。あいコープはそんなつながりを生み出す場であり続けます。

今総代会で新たに職員理事

3人、組合員理事3人が加わ

り、総勢20名の新理事会が選

任されました。あいコープが

生協として進む道を歩むため

にも、今まで以上に事業と活

動の両輪がしっかりと同じ速

度で力強く進んで参ります。

事業と活動のどちらかが走り

すぎても生協は成り立ちませ

ん。2020年ビジョンに掲

げた「元気な組織と健全な経

営」を目指し、課題を共有し

て解決に結びつけます。新し

い風が爽やかに吹き抜けるよ

うに新理事会メンバー一同気

持ちを一つにスタート致しま

す。あいコープが目指す持続

可能な社会への実現に向かっ

て一歩一歩前に進んでいきま

しょう。

CONTENTS

▶ 総代会報告 …2

▶ 新理事会紹介 …3

▶ 新しい公害『香害』を知ろう …4-5

▶ 「女川原発再稼働の是非を決める県民投票」…6

▶ まんま通信のあるくらし 仙南地区企画報告 …7

▶ 生産者さんにあいに行こう！JA加美よつばの巻 …8

総代会報告

6月8日、エルパーク仙台で第30回通常総代会が開催されました。議

案審議では「基本理念と商品選定が一致しているのか」「事業剰余金が赤字となった理由」「職員の福利厚生

の在り方」「プラスチックやトレーの削減」などの質問がありました。理事会が答弁を行った後に採決を行い、理事会から提案された全議案が可決承認されました。新たに選任された理事によりその場で臨時理事会が開催され、高橋千佳理事長、高野恵美子副理事長、高橋正人専務理事、吉武悠里常務理事を選任しました。

第30回通常総代会 採決結果

第1号議案

2017年度活動・事業報告、決算及び剰余金処分案の承認の件

反対1 保留4 賛成143

第2号議案

2018年度活動・事業方針、計画及び予算の決定の件

反対0 保留6 賛成142

第3号議案 役員選任の件

反対1 保留6 賛成141

第4号議案 役員報酬限度額決定の件

反対0 保留3 賛成145

第5号議案 議案決議効力発生の件

反対0 保留0 賛成148



高橋正人専務理事
(事業部長)

「食の自給と安全、自然環境の保全、地域福祉の推進」これがあいコープみやぎが実行してきた事、これから変わらな



吉武悠里常務理事
(商品部長)

またしても痛ましい児童虐待死事件が起き、世間を騒がしています。この瞬間にも、どこかで幼



大滝満雄理事
(総務部長)

「社会的企業」という言葉をご存知ですか？地域経済の空洞化、コミュニテ

出した技術により環境を壊した事を猛省し、未来についていく事も生協運動の大きな柱です。そして女性も男性も、高齢者も障害者も、色んな家庭環境の子供たち

社会の中で、最も弱いところから破壊や悲劇が進行しているように感じます。それは社会で言えば、子ども、老人、障がい者らであり、自然界で言えば、微生物、昆虫、動植物、作物や家畜たちです。生命が蔑ろにされる社会をどうしたら変えることができるのでしょうか。

あいコープが掲げる「食の自給と安全」、「被害者にも加害者にならない暮らし」は、あらゆる生命を尊び、持続可能な共生社会を目指すものです。理事就任にあたり、改めてこの理念の理解を深めていきたいと考えています。「私たちは微力だが無力ではない」。この言葉を支えに、様々な問題について学び、組合員、生産者のみなさんと協同し、行動していきたいと思

能な地域社会」をつくるための「社会的企業」と言えます。大切なのはあいコープ組合員の購買行動や生産者交流の持つ意味がますます重要度を増していること。組合員一人ひとりのその一歩が生産者との絆をつくり、地域を活性化させ、持続可能な生産を支える力になっているのです。そのためには組織で働くあいコープの役職員は皆様と共に学び行動していきたいと思

第 28 期理事会紹介

各理事からひとこと
「あいコープ商品のコレが好き！」

高橋 千佳(理事長)

「あいコープのこつぶ納豆」

納豆プロジェクトに関わり社長のお人柄と納豆愛に惚れました(笑)

あいあいあいの精神で粘り強く活動することが、社会の変革へ繋がることを信じて今年度も精一杯取り組みます。生産者の皆さんとのつながりを大切にしながら一緒に前へ進んで参ります。



高野 恵美子(副理事長)

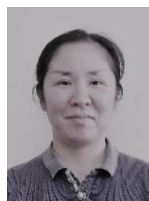
「大郷の敦子さんのレタス」

あいコープの野菜を食べて育った息子は本当の野菜のおいしさが分かるようになりました。中でも大郷みどり会の西塚敦子さんのレタスが大好きです。

大きな世代交代を遂げた今期のメンバーでゆるぎない生協としてあいコープを発展させるためにさらに地域に根差すあいコープを作り上げたいです。

新しく理事になりました！

今年の総代会で新しく理事となった3人です。
みなさま応援よろしくお願いします。



大木 その子(青葉 A)

「あいコープの納豆」

食の細い息子が唯一ヘビロテで食べます。

色々ご迷惑をおかけするかと思いますが、周りの方々と一緒に青葉 A 地区らしさを作り、楽しく活動していきたいと思っています。



藤田 紀子(しおさい)

「コッペのネグロスクッキー」

自分時間をゆっくり楽しむための私の好きな一品です。

多くの方との出会いが楽しみです。あいコープの良さを伝えられるよう自分自身学びながら活動していきたいです。



八重畑 ゆかり(宮城野)

「鎌田醤油さんの米麹」

甘酒や塩麹がとっても美味しく出来ます。子供達も、この米麹で作る甘酒が大好きです。

「おいしい！たのしい！だいすき！あいコープ」を共感できる活動をして、仲間作りをしたいと思っています。



阿部 麻利子(全体)

「おとうふ揚げ」

社長の愛が詰まってる！



安部 有理(青葉 B)

「調味料類」

我が家の食卓の強い味方！



石川 佳名子(太白)

「趙さんの白菜キムチ」

ヤンニョムに野菜と魚介の旨味がたっぷり、程よい辛さが good！



太田代 一世(全体)

「そのまんまボンレス」

美味しさと職人技が詰まったどこにもないハム！



後藤 咲子(泉 A)

「わはわの乾燥系こんにやく」

食べごたえたっぷり、サラダによし煮物によし、何にでも使えます。



佐藤 美恵(石けん)

「バナナ」

バナナジュースや焼き菓子を作ったりするのに重宝しています。



鈴木 真奈美

(脱原エネルギーシフト)「でんき」

産地も作り方も見えるでんきをお届けするあいコープを誇りに思います。



辻 朗子(石巻)

「ハム・ソーセージ全般」

食物アレルギーに苦労した母と子のまさに救世主のような存在でした。



成澤 菜穂子(若林)

「みんなの i 食パン」

朝はパンの我が家では欠かせない 1 品です。



原子 良恵(泉 B 地区)

「佐々木さんのいちご」

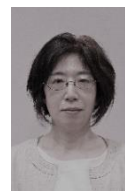
味のおいしさはもちろん、届いた時の玄關に広がる香りがたまりません！



牧 梓咲(全体)

「あいコープの豆腐」

他のお豆腐じゃ満足できなくて困っているくらい大好きです。



三浦 一枝(仙南)

「たまご(全種類)」

毎日のお弁当に欠かせません！

7月はシャボン玉月間

新しい公害 “香害” を知ろう



▼石けんメーカー【シャボン玉石けん】は新聞各紙に全面広告を出し「その香り、本当に必要ですか？」と問いかけています。



たった二日間で213件！！

企業や国家の利益より人の命や健康を優先する世の中を目指し活動する特定非営利活動法人【日本消費者連盟（日消連）】が2017年に「香害110番」を期間限定で開設しました。7月と8月に各1日ずつ開設されたこの窓口には、芳香柔軟剤・消臭スプレー・制汗剤など人工の強い香料が原因で体調を崩し、日常生活を送れないといった相談が合計213件も寄せられました。

訴えの内容は、隣家の洗濯物の匂いで頭痛や吐き気などがあるという身体的な被害や、香りは好みの問題だと軽視され辛さを理解してもらえない、「神経質な人」と偏見を持たれるといったものも多数でした。

日消連は相談内容をまとめたブックレットを発行し、機関誌「消費者レポート」でも香害について大きく取り上げています。



ブックレット「香害110番」

子どもが持ち帰る給食着の匂い、電車の乗客の服の匂い…。

昨今の「香りブーム」は有害な化学物質をまき散らし、とうとう「^{こうがい}香害」という名の公害を作り出しました。匂いに慣れてしまうと物足りなくなり、強い香りを欲する消費者。その希望に応え強い香りの芳香剤や柔軟剤を開発する洗剤メーカー。

一方、その匂いを不快と感じる人も増加し、また、香り成分による頭痛やめまいなど深刻な症状で、外出できない、学校や仕事へ行けない苦痛に悩む『C S（化学物質過敏症）』を発症する人が多発しています。

汗臭さや体臭を消すエチケットと思い込んで使っている「香り」が、誰かを苦しめているとしたら。そして自分の健康をも蝕んでいくとしたら。

あいコープは「被害者にも加害者にもならない」を合言葉に、洗剤を「使うなら石けんを」と発信し続けています。石けんで洗えば汚れも臭いもしっかり落ちるので柔軟剤の香りでごまかす必要がありません。受動喫煙の被害が認知され禁煙が広まったように、香害を多くの人に知ってもらい、香る商品に含まれる有害化学物質のまき散らしも自粛する社会になることが必要です。

あいコープみやぎは創設以来
合成洗剤を一切取り扱わない石けん派生協です

あいコープは【せっけん運動ネットワーク】に加盟し、毎年7月は「シャボン玉月間」と定め、全国の石けん派生協などと共に石けん利用を切り口に環境に優しい暮らしの提案を広めています。

シャボン玉月間に向け、組合員への公募で作成したポスターを地域で掲示し、また自治体にも水環境保全を呼びかけ、全国から集まった首長メッセージを機関誌に掲載し発行しています。

毎年春に行われる全国集会「シャボン玉フォーラム」でも、ここ数年「香害」について各団体の取り組みが発表されています。

あいコープみやぎでは石けん環境委員会が主体となって4年前に各務原カンファレンス主宰の渡部和男氏を、2年前には日消連の天笠啓祐氏を講師にお招きして香害学習会を開催しました。生協内ではそれよりも前から「子供の給食着の香りで気分が悪くなる」「近所の洗濯物の匂いが強く窓を開けられない」などお悩みが寄せられていました。行政への問い合わせ、仙台市議の方との懇談などを行いましたが、行政からは「香りの感じ方は個人差が大きい。体調については病院で受診を」といった趣旨の回答をいただく程度でした。

ただここ数年ではメディアで報道されることも多くなり、「香害」という言葉の認知度も高まってきています。継続的に学習会を重ね、まだ知らない方にもこの問題を知っていただけるよう情報発信を続けていきます。

石けん環境委員会 担当理事 佐藤美恵

環境
学習会
開催

7/17(火) 10:00～12:00
エルパーク仙台 5F セミナーホール

身近なものが害になる
～香害とネオニコチノイド系農薬～

身の回りにあふれている香り付きの商品、殺虫剤、ペットのノミとり剤、田んぼや畑の農薬、それらに何が含まれ、どんな影響があるのか。

教室にあふれる香りに教室で授業がうけられない子どもがいるということ、ネオニコチノイド系農薬は微量でも脳の機能発達が盛んな子どもには影響があり、自閉症や発達障害になる可能性があるということ、被害者にも加害者にもなってしまうこのことを知らずにはいられません。

ジャーナリストの岡田幹治さんに詳しく教えて頂きます。

申し込み・問合せ あいコープみやぎ
TEL 0120-255-044
インターネット <http://www.mamma.coop>

日本消費者連盟に入会すると 月1回「消費者レポート」が届きます。

何が危険で、何が安全なのか。私たちは事実を知らされないままリスクにさらされています。日本消費者連盟では、まず事実を知ることから始めるために、機関紙「消費者レポート」を発行しています。

日消連 普通会員 8,000 円(年会費)※一年分「消費者レポート」購読料を含む

日消連 維持会員 14,000 円(年会費)※一年分「消費者レポート」購読料

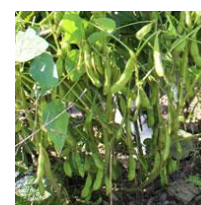
新刊ブックレット配布を含む

申込み方法:日本消費者連盟事務局まで

メール(office.j@nishoren.org)かお電話(03-5155-4765)でご連絡ください。



種子(たね)に注目！ これは何のたね？



山形県おきたまの伝統野菜。かつて、長井市佐沢地区を中心に作られていました。絶滅したと思われていましたが、現存していることが分かり、復活を遂げました。種子の表面に馬が噛んだような模様がついていると言われます。

おだいの
たねまき



求む!「受任者」

女川原発再稼働の是非を自分達で決めるために

福島原発事故以来、原発の無い社会を望む声は確実に広がっています。しかし再稼働の最後の手続である「地元同意」は、他県での原発再稼働の流れを見ると「県知事の同意」で済ましてしまう傾向が強いことが分かります。女川原発を動かすかどうか、県知事一人の同意だけでいいのでしょうか？宮城に住む一人一人の考えを聞いて欲しいと思いませんか。

女川原発再稼働に賛成か反対か、できるだけ多くの住民が自らの意思表示をするには、有権者による県民投票という方法があります。今、この県民投票実現を目指す運動が始まっています。4月に行われた第一回賛同者会議には多くの人が詰めかけました。再稼働の是非は、国でもなく県知事でもなく自分たちで決めたいという県民が動き出しています。

ではこの「女川原発再稼働の是非を決める県民投票」を実現させるためには、どのようなステップを踏めばいいのでしょうか。

まず宮城県議会に「県民投票条

例」の制定を請求します。必要なのは、県内の有権者の50分の1（宮城県の場合約4万人）の法定署名。通常の署名と違い、捺印までする必要のある署名です。これが集まれば県議会はこの請求を無視できません。県民投票の実現への道は、署名集めの成功で初めて開けて来るのです。

この法定署名は有権者の内、「受任者」になった人しか集められません。受任者は同一居住地域の有権者の署名を集められますが、まず家族分を集めるのが基本になります（家族以外の署名を集めることも可能です）。つまり、「家族の署名を集める受任者」がどれだけ多く集まるかが県民投票実現へのカギとなります。

今回の「あいあい」と同時に、受任者の申込書が配布されています。ぜひこの活動にご参加ください。

みんなで決めよう!



「原発」県民投票条例の制定を求める署名集めの協力者(受任者)を募集します!

まんま通信のあるくらし

お弁当箱が「あいコープ」で満タン♪

「春の手作りお弁当」

5月17日(木)岩沼中央公民館にて「春の手作りお弁当」を開催しました。

春は家族でのお出掛け、運動会など戸外でお弁当を食べる機会が増える季節です。地区委員さんかいつも同じメニューになりがちとの声があり、NPO法人とうほく食育実践協会の食育コンダクターさんに教えてもらいたい!ということで講師として来ていただきました。

手軽に出来るおかず、季節的に傷みにくいご飯、前日に作り置き可能なおかずなどの要望にも応えてもらいました。グループごとに「鶏もも肉の焼き鳥風さわやか煮」「野菜と柑橘の春ちらし寿司」「わらび餅」の3品を作りました。「食彩酢でこんなに簡単にできるの!」「わらび餅力があるね!」など味見もしながら皆さん楽しそうです。他にも「タンドリーチキン」「蒸し鶏」、「ジャガイモの



甘みそ和え」など野菜や卵の料理など盛りだくさん。講師の方からは、お弁当は暗い色と明るい色を、水分はごまやおかななどで吸わせる、3つぐらいの味が入っていると良いなどコツも教えていただきました。参加者からは「とても簡単でどれも美味しく自分でも作ってみようと思いました。」などの感想をいただきました。

5/17 (水)
仙南地区
企画報告

理事会議事録抄

2018年6月5日(火)

▼2018年通常総代会へ向けた準備と当日運営に関する確認を行った。▼議案書説明会の報告を受け、総代会での討議ポイントの買う人を行った。▼組織運営体制の互選におけるプロセスを確認した。▼Wa!わあ祭り実行委員会からの報告と提案を承認した。▼新アンテナショップ設置案を承認した。▼2018年度ジョイケア予算案を承認した。▼NPO法人とうほく食育実践協会による食育コンダクター養成講座への協力を確認した。

組織概要

(2018年5月分)

【組合員数】	14,636名
【供給高】	212,636千円
【一人実利用高】	5,320円/週
【出資金】	1,105,129千円



●P4のこたえ 『うまのかみしめ』
だだちゃ豆と並ぶ山形の枝豆の在来種。青平豆とも呼ばれる。編集部

報告
5/21
(月)

産地交流 大郷みどり会

石巻・泉B・しおさい地区

産直産地との農作業交流が始まりました



こどもたちが手際よく作業を進めました

今年度、地区委員会は県内産直産地と通年で交流・学習をします。大郷みどり会と交流するのは石巻、泉B、しおさいの3地区です。4月打ち合わせを踏まえ、5月21日によい畑の作業が始まりました。日程を運動会の振替休日に充てたので、沢山の小学生もお手伝いに参加です。25mブルーのコース3つほどの圃場をお借りし、さつまいもと枝豆を栽培することになりました。始めに、生産者さんに立てていただいた畝に雑草の育成を抑えるためのマルチがけを行いました。黒のビニールで畝を覆う作業で、ピンと張るために何か所か抑えながら土を被せていきます。



大郷みどり会では無農薬田んぼでの交流もしています

次に、張ったマルチに等間隔に穴をあけ、枝豆の種をまきました。子どもたちの手から次々に蒔かれていきます。さつまいもの苗植えは、昨年に引き続き2回目だったこともあり、経験のある子どもたちを中心にどんと植えられ、あつと言いう間に終わりました。

昨年より圃場が小さくなったので、今年はおとと収穫できるよう、除草作業や状況確認を丁寧にしなければなりません。3地区で生産者さんと共に収穫を楽しみに頑張りたいと思います。交流の様子や生育状況などは地区ニュースでお知らせしますので、ぜひご覧ください。



私のオススメ商品



私がオススメするのは『かけぼん』です。これ、とにかく何でも合うんですよね!

私はいつも焼き魚やサラダ、おひたしなどに使っていますが、特に豚肉との

相性は抜群で、かけぼんの酸味が肉の甘さを引き立てて最高ですよ!この前は、ごま油を少し加えてみたら、野菜によく絡んでよかったです。おいしくってつかいすぎちゃうけど、もちろん化学調味料無添加なので安心です!今ではわが家に欠かせない一品です!

事業部職員 青葉 A リーダー 竹内康雄

編集後記

改選期となった総代会が無事終わり、新しい理事さんが加わり、先輩の理事さんたちが巣立っていかれました。新専務理事が誕生し、あいコープの新しい時代が始まるうとしています。私も早くも二期目に突入しますこと、時間の早さに驚いています。前回の表紙には抱っこされた二歳の娘が写っておりましたが、その娘は当時から一〇センチも身長が伸びました。果たしてその位の成長を、親はできたのか...うちらは何だか教えてもらうことばかりの毎日です。子どもに、あいコープに...成長させてくれる全ての事に感謝をこめて。

理事 牧 梓咲

●機関紙あいあいあいのご意見・ご感想

組合員番号、氏名、電話番号をお書きの上、配送もしくはFAX (022-284-6973) にて、あいコープみやぎ理事会へ広報宛にお送り下さい。

組合員の皆さんの『つばやき』も大募集中!



ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

ジョイケア利用状況 (2018年4月分)

ささえあい(保障)	1件	◆集団託児	
たすけあい(ケア)	48件	利用延べ人数	36名
集団託児	11件		
慶弔・出産	9件	◆ケアメイト	
電話相談窓口	1件	移動延べ人数	39名
計	70件		

組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケア事務局へ



022-284-7277 平日 9:00~17:00

7/10 (火)・・・法律相談 弁護士 松澤陽明氏

13:30~15:30

7/10 (火)・・・年金相談 社会保険労務士 清野道子氏

13:30~15:30

7/17 (火)・・・くらしの相談 消費生活専門相談員 加賀淳子氏

10:30~12:30

7/18 (水)・・・子ども相談 宮城教育大学教授 菅井裕行氏

10:00~12:00

7/20 (金)・・・思春期相談 臨床心理士・スクールカウンセラー 北條貴子氏

9:30~11:30

▼各相談窓口前週の日曜日まで予約して下さい。随時受け付け可能です。▼
予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。



④ 問宮商店のマサバ醤油干しは、やっぱり美味しいな。

後藤

生産者 さんに あい に行こう! ⑩ JA 加美よつばの巻

宮城県産トマトを 使ったケチャップです



『なつのしゅん』
8月2回収り扱い予定

この畑で栽培されているトマトは「なつのしゅん」という玉が大きく肉厚な品種です。加工用トマト栽培は生食用とはまるで異なります。生食用はハウス栽培が多く、支柱を立てたり糸で誘引したりして上へ上へと伸ばしますが、加工用は露地で、枝葉は地を這わせて育てます。収穫最盛期は7月下旬から9月上旬。夏の暑さ真っ盛り

6月14日、宮城県加美町にあるJA加美よつばを訪れ、「とまとケチャップ」の原料となる加工用トマトの畑を案内していただきました。



の時期に、地を這うトマトの熟し具合を見極めながら手作業で行う収穫は大変な作業だといえます。この日はトマトの花がようやく咲き始めたばかりでしたが、間もなくたくさんの実がなることでしょう。市販の多くが輸入トマトピューレを原料にしたトマトケチャップであるのに対し、加美よつばのケチャップは国産、しかも県内産のトマトのみでできています。多くの人に味わっていただきたい味ですね。



あいコープ職員が作業体験をした時のようす 葉の下に実るトマトをひとつひとつ収穫する(2014年)



JA 加美よつば 営農販売部 園芸課
チーフ 石川俊行さん(右)
課長補佐 古内大喜さん(左)

もともとこの地域は加工用トマト栽培がさかんでした。しかし、次第に低価格の輸入トマト原料がシェアを上げたために、国産加工用トマト栽培は衰退し、加美でも作付けをやめていました。平成21年に、愛知県にある食品製造メーカーの『コーミ(株)』さんから国産野菜の生産・需給拡大を目的に加工用トマト栽培の依頼を受け、再び作付けが始まりました。今のところ、年間200tの出荷を目指していますが、昨年は長雨をはじめとする異常気象の影響で93tしか収穫できませんでした。生産するだけでなく、地域ぐるみでこのケチャップの良さを広げる活動をしつつ、国産農産物の需要拡大に向けて加工用トマト栽培も更に広がってほしいと思います。

Calendar *今後のイベント*

7/4 水

憲法学習会

**憲法改正で
くらしが変わってしまう?!**

講師: 草場 裕之 氏
(弁護士、仙台弁護士会所属)

場所/ 日立システムズホール エッグホール
時間/ 10:00~12:00 参加費/無料

7/17 火

環境学習会

**香害と
ネオニコチノイド系農薬**

講師: 岡田 幹治 氏
(ジャーナリスト、『週刊金曜日』元編集長)

場所/ エルパーク仙台 セミナーホール
時間/ 10:00~12:00 参加費/無料

7/10 火

たねまきプロジェクト
ドキュメンタリー映画

種子(たね)上映会

種子はみんなのもの?
それとも企業の所有物?

場所/ せんだいメディアテーク スタジオシアター
時間/ 10:00~12:00
参加費/組合員とそのゲスト500円 一般800円

7/19 木

太白地区委員会

**石けん使い方講座と
アロマ虫よけ作り**

場所/ 富沢市民センター 調理室
時間/ 10:00~12:00 参加費/500円

地区委員さん募集中!
一定例会見学も受付中~

地区委員会は

**楽しい!
おいしい!
学べる!!**

あいコープの仲間だから
本音トークができます。

お問い合わせ先
☎ 0120-255-044
Fax 0120-849-324
Email soshiki@mamma.coop

(担当: 組織運営室長 豊嶋)

